



# 男と女のいきいきコラム

—— 男女共同参画社会の実現を目指して ——

VOL.86

## ひとりで悩まないで電話をしてみませんか？

普段の生活で「女性だから」「男性だから」と言われて嫌な思いをしたり、「悩んでいなくても相談するようなことではないのかも」と思ったことはありませんか。

岐阜県の「男女共同参画プラザ（県民ふれあい会館内）」では、男女共同参画社会の実現に向け、男女がともに自分らしく生きられるようさまざまな悩みをお聞きするため、平成18年から電話相談窓口を開設しています。毎年千件を超える相談が寄せられており、平成22年度の電話相談件数は1091件でした。

内容別で見ると、DV（配偶者からの暴力）や離婚などの「パートナー関係」および「親子家族関係」がそれぞれ190件と最も多く、職探しや解雇などに関する「仕事」の分野でも187件と高い割合を占めています。次いで、借金や生活困窮などの「生活」の分野、ママ友達や近所の方

との付き合いなどの「人間関係」の分野と続いています。

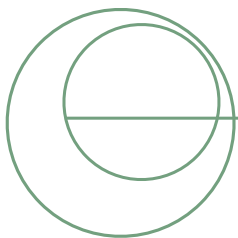
また、男女別で見ると、女性からの相談が715件に対し男性からは368件でした。男性からの相談件数は女性の約半数ですが、前年より21.5%増えており、男性も悩みを話せるようになってきていることが分かります。

男性にも女性にもそれぞれ悩みがあり、そのことを理解し合うことが、男女共同参画の実現へとつながります。一人で悩んでいる方や「どこに相談していいかわからない」とお困りの方は、気軽に電話してみてください。

ひとりで悩まないで

岐阜県男女共同参画プラザ  
「電話相談専用ダイヤル」  
☎058-278-0858

日曜～木曜（祝日・年末年始を除く）  
9:00～12:00、13:00～17:00



## 健康まとめ知識

保健センターから健康に関するトピックスをお届けします。

### ～早期発見・早期治療のためにがん検診を受けましょう！～

1981年（昭和56年）以降、日本人の死因の第1位は「がん」です。日本人が生涯のうちにがんになる確率は、男性の2人に1人、女性の3人に1人とわれています。2009年（平成21年）にがんで死亡した人の数は、全国で約34万4千人で、男性は女性の約1.5倍でした。

がんの種類別の患者数は性別によって異なり、男性では「胃がん」「大腸がん」「肺がん」「前立腺がん」「肝臓がん」の順に多く、女性では「乳がん」「大腸がん」「胃がん」「肺がん」「子宮がん」の順に多くなっています。（財）がん研究振興財団「がんの統計2010年度版」より）

がんは『不治の病』というイメージがあるかもしれませんが、最近は医学の進歩によって、早期にがんを発見し、早期がんの段階で治療すれば、多くのがんは完治できるといわれています。

がんの早期発見・早期治療のために重要になるのが「がん検診」の受診です。がん検診には、「胃がん検診」「大腸がん検診」「子宮頸がん検診」「乳がん検診」「前立腺がん検診」などがあり、勤め先の定期健診や市が行うがん検診で受診することができます。

皆さんも定期健診などの機会を利用して、定期的ながん検診を受診しましょう。

土岐市でも、各種がん検診を実施しています。詳しくは、本紙8月15日号7ページをご覧ください。

